

企画展

「みんなでつくる宝塚コドモ博」

開催のお知らせ

公益財団法人宝塚市文化財団(所在:宝塚市)は、美術家・藤浩志の作品や「宝塚ファミリーランド」を回顧する資料を展示する企画展「みんなでつくる宝塚コドモ博」を2026年2月20日(金)から4月12日(日)まで宝塚市立文化芸術センター(たからば)で開催します。

宝塚市立文化芸術センターの建つ場所に、かつて「宝塚ファミリーランド」があったことを振り返りながら、美術家・藤浩志とともに新たに創る博覧会。美術家・藤浩志のダイナミックな作品や「宝塚ファミリーランド」当時の絵はがきやパンフレットの展示などをお楽しみいただけます。

展覧会の見どころ

①藤浩志の作品を展示

藤浩志は、いらなくなったおもちゃの交換システム「かえっこ」をはじめ、ユニークな地域活動を発案し、ジャンル、手法、素材を横断するプロジェクト型の美術表現を展開する美術家。いらなくなったおもちゃのパーツなどから生まれた恐竜や動物などの展示をお楽しみいただけます。全長5mにもなる《トイザウルス》や全長2mの《メガロケロス》(絶滅したシカ科の動物)などのほか、捨てられるぬいぐるみたちを集めてうまれた《ぬいぐるみーズ》なども展示します。

②「宝塚ファミリーランド」の記憶の継承

宝塚市立文化芸術センター(たからば)は、「宝塚ファミリーランド」の跡地にできたアーツセンター。当時の絵はがき、パンフレットなどを展示し、このまちの楽しい記憶を振り返ります。また、当時あった植物園や昆虫館、動物園の写真や資料も展示します。

③「みんな」でつくる

この企画展は「「みんなでつくる」宝塚コドモ博」。会期前の作品制作から展示作業、会期中の会場案内をボランティア(クルー)が担当します。また、会場内には、来場者が自由に作品づくりができる「創造ラボ」を設置。来場者も表現を楽しめます。作った作品は、会場に展示することもでき、ラボで作られた作品が、展示の一部となっていく、まさに「みんなでつくる」企画展です。



過去展覧会の様子

【お問い合わせ先】

宝塚市立文化芸術センター(たからば) 担当:南出(みなみで)、安藤(あんどう)

住所:〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川1町7番64号

電話:0797-62-6800 E-mail:tac@takarazuka-c.jp

展示内容

今回の企画展は、「まちの記憶」として宝塚ファミリーランドの記憶をたどるエリア、「藤浩志の作品」エリア、そして、来場者が自由に作品づくりができる「創造ラボ」の大きく3つのエリアに分かれています。

会場である宝塚市立文化芸術センター(たからば)は、「宝塚ファミリーランド」の跡地にあります。「宝塚ファミリーランド」には、遊園地だけでなく、動物園や植物園、昆虫館などの博物館的施設がありました。また、博覧会イベントが開催されており、この場所を通して、多くの子どもたちの知的好奇心を育んできました。一方、美術家・藤浩志は、いらなくなったおもちゃやぬいぐるみを素材に、動物や恐竜・鳥といった存在へ生まれ変わらせる表現を続けてきました。

この地に刻まれた「楽しい記憶」と、動物・恐竜というモチーフの共通性が、宝塚ファミリーランドの記憶と藤浩志の表現を結び付け、本展のテーマを形づくっています。

①まちの記憶

宝塚ファミリーランドは、老若男女、親子三世代が楽しめる行楽の場として、長年にわたり広く市民に親しまれてきました。こうした体験を通じて育まれた記憶は、多くの人々の心に残っています。このような地域の文化的記憶を大切にしながら、宝塚ファミリーランドを知らない世代の子どもたちにも、かつてこの地に存在した「楽しいまちの記憶」を伝えていきたいと考えています。本展では、宝塚ファミリーランド内にあった植物園・昆虫館・動物園の写真、絵ハガキ、パンフレットなどを中心に、これまで保存されてきた関連資料を展示します。

②藤浩志の作品

いらなくなったおもちゃを交換するシステム「かえっこバザール」の発案者として知られる美術家・藤浩志の立体作品を展示します。藤は、役目を終えたおもちゃのパーツを素材に、動物や恐竜といった造形を生み出してきました。本展では、「かえっこ」とは異なるかたちで展開される藤浩志の表現を、立体作品を通して楽しむことができます。高さ2mにも及ぶ《トイザウルス》や、今にも動き出しそうな迫力のある《嘆きのメガロケロス》、ぬいぐるみを分解して再構築した《ぬいぐるみ〜ズ》たちが宝塚にやってきます。

③創造ラボ

本展では、来場者が誰でも参加できる制作体験の場「創造ラボ」を設けています。ラボに用意された素材の中から自由に選び、思い思いの作品を制作することができます。完成した作品は持ち帰ることができるほか、会場内に展示することも可能です。

その他、宝塚ファミリーランドを知る来場者に向けた、当時の記憶を振り返るコーナーや宝塚ファミリーランドの歴史の空白を、来場者の記憶でたどるリサーチコーナー、植物、昆虫、動物をテーマにした書籍を集めた小さなライブラリーコーナーも設けています。

関連企画

①藤浩志とトーク

本展最終日に、美術家・藤浩志と今回のコドモ博を振り返るトークイベント。

日時:4月12日(日) 14:00～

会場:宝塚市立文化芸術センター 2Fメインギャラリー(本展会場内)

参加費:無料(本展の入場券が必要です)

※事前予約不要

②かえっこバザール in TAKARAZUKA

会期中、宝塚市内で「かえっこバザール」を開催します。

★3月8日(日)13:00～15:30

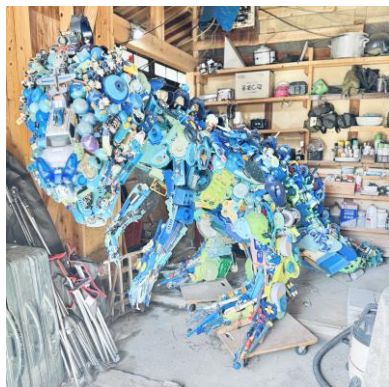
★3月29日(日)10:30～12:00／13:30～15:30

★4月11日(土)14:00～16:00

※会場など詳細については右の二次元バーコードから、ご確認ください。



主な出品作品



藤浩志
《トイザウルス・中之島》2010年、
木材・いらなくなったおもちゃ、
H2000×W1800×D5200



藤浩志
《嘆きのメガロケロス・白角赤太郎》
2021年、木材・いらなくなったおも
ちゃ、H2340×W1510×D2100



藤浩志
《ぬいぐるみ〜ズ・虎》2022年、
木材・いらなくなったぬいぐるみ、
H1150×W400×D1500

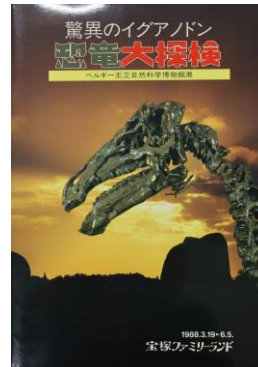
主な出品資料



宝塚昆虫館 昆虫スタンプ
(1939年)



恐竜展リーフレット
『ゴビ砂漠からやってきた
＜世界初公開＞ソビエト恐竜展
ソ連科学アカデミー古生物学の
成果』(1973年)



恐竜展リーフレット
『驚異のイグアナドン 恐竜大探検
ベルギー王立自然科学博物館展』
(1988年)

藤浩志(ふじ・ひろし、1960年～) プロフィール

美術家・秋田公立美術大学教授・NPO法人アーツセンターあきた理事長・
株式会社 藤スタジオ代表

1960年、鹿児島生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了、パプアニューギニア国立芸術学校講師、都市計画事務所勤務を経てジャンル、手法、素材を横断するプロジェクト型の美術表現を全国で実践。十和田市現代美術館館長、秋田市文化創造館館長を経て現職。主な作品「ヤセ犬の散歩」「お米のカエル物語」「Jurassic Plastic」等 また、捨てられるおもちゃの交換システム「かえっこ」、防災プログラム「イザ！カエルキャラバン！」「部室をつくる」などユニークな地域活動を発案、提供している。

<https://www.fujistudio.co/>



開催概要

- 【名 称】 みんなでつくる宝塚コドモ博
- 【会 期】 2026年2月20日（金）～ 4月12日（日）、45日間
- 【休館日】 毎週月曜日 ※2月23日（月・祝）は開館。翌火曜日が休館。
- 【時 間】 10:00～18:00（最終入場は17:30まで）
- 【会 場】 宝塚市立文化芸術センター メインギャラリー
- 【観覧料】 一般:1000円、（前売:800円）
高校生以下無料 ※パスポート制で会期中何度でも入場可
宝塚市文化財団友の会（タカラティエ）無料（1名まで。2名以降は800円）
障がい者と同伴者1名無料 ※入場時に障がい手帳をご提示ください
- 【チケット発売所】 以下の窓口及びオンラインで前売券・当日券を販売
※窓口、オンラインともに前売券販売期間は2月19日（木）まで
- ★窓口販売 9:00～17:00
宝塚市立文化芸術センター（月曜休館・祝日の場合翌平日休）
宝塚ソリオホール 宝塚市栄町2丁目1-1 ソリオ1-3階
宝塚ベガ・ホール（水曜休館） 宝塚市清荒神1丁目2-18
宝塚文化創造館（月曜休館） 宝塚市武庫川町6-12
- ★オンライン販売
ローソンチケット（Lコード 52950）
※ローソンチケットでの当日券販売は4月12日（日）15:00まで
- 【主 催】 宝塚市・公益財団法人宝塚市文化財団
- 【後 援】 宝塚市教育委員会
- 【協 力】 藤 浩志・株式会社 藤スタジオ・株式会社 宝塚舞台・宝塚市立中央図書館

内覧会のご案内

プレス関係者及び招待客向けの内覧会を開催します。いち早く、会場内をご覧ください。
ぜひご参加ください。（会期中の取材もご遠慮なくお問い合わせください）

日時：2026年2月19日（木） 11:00～16:00

受付時間：10:45～15:00

受付場所：宝塚市立文化芸術センター 2階 メインギャラリー受付

展示会場：宝塚市立文化芸術センター 2階 メインギャラリー

申込みフォーム：<https://forms.office.com/r/CLthdv12aN>

※受付期間を過ぎた場合や当日飛び込みで参加する場合、
応募フォームを使用せず、名刺をご持参のうえ、直接受付場所へお越しください。



申込みはこちらから

公益財団法人宝塚市文化財団について

住所：兵庫県宝塚市栄町2丁目1-1 ソリオ1-3階 電話：0797-85-8844

公式HP：<https://takarazuka-c.jp/>

公益財団法人宝塚市文化財団は、地域文化の創造に寄与することを目的として、1994（平成6）年4月に設立されました。宝塚ベガ・ホール、宝塚ソリオホール、宝塚文化創造館、宝塚市立文化芸術センター（2024（令和6）年4月～）の管理運営を行うほか、地域社会とアーティスト・観光・商工業など、様々な分野をつなぐ「地域のつなぎ手」として、市内の文化芸術活動を推進しています。

管理運営施設



宝塚市立文化芸術センター・庭園（たからば）

かつて宝塚ファミリーランドがあった場所に2020年に新たに開館した文化芸術施設。ギャラリー、ライブラリーなどと緑豊かな庭園があるアーツセンター。「創造・交流・感動の空間」として、様々な企画展をはじめ、芸術や自然にふれるワークショップや園芸講座、マーケットなどを開催。イベントを通して人々がふれあえる憩いと交流の場です。